

「さいき部」ふるさと佐伯を残したい 地元高校生によるICTを利用したつ ながりづくり



(廿日市市津田市民センター)
(主任主事)(日比野稔)

1 廿日市市佐伯地域はこんなところです。



2 廿日市市の人口統計

廿日市市人口・世帯

令和3年2月1日現在

	廿日市市	廿日市地域	佐伯地域	吉和地域	大野地域	宮島地域
人口総数	117,041	76,104	9,384	621	29,434	1,498
男性	56,401	36,603	4,589	311	14,236	662
女性	60,640	39,501	4,795	310	15,189	836
世帯数	52,736	33,899	4,723	339	12,979	796

廿日市市年齢別構成

令和3年2月1日現在

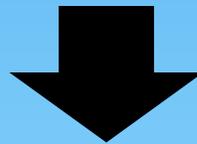
15歳未満	15,168	10,167	701	64	4,106	130
構成比	13	13.4	7.5	10.3	13.9	8.7
15歳から64歳	66,376	44,248	4,748	247	16,469	664
構成比	56.7	58.1	50.6	39.8	56	44.3
65歳以上	35,497	21,689	3,935	310	8,859	704
構成比	30.3	28.5	41.9	49.9	30.1	47

3 津田市民センター事業「さいき部」とは

[始まり・誕生]8月

令和2年8月開催津田市民センター事業「ZOOMSCHOOL」や9月下旬開催の「動画作成講座」で佐伯高等学校の今年新しくできた部活動「総合科学部」がボランティア支援として参加した。その時に、講師で広島県立大学4年生の小笠原君と生徒が意気投合し、小笠原君から「若い力で映像制作などをおして一緒に何かしようか」という呼びかけに賛同したのがきっかけ。

その時すぐに高校生が、ラインなどで中学校時の友達に呼びかけて調整を含め10月18日に第1回目の全体会議から始まった。



[準備期間]10月～2月

初めて全員集合時に、改めて今までの経緯を説明し全員でお互いの自己紹介をした。

その後、毎月1回は集まり様々な資料を用いた学習や体験活動を行った。連絡手段は、LINEやDiscordで小笠原君を含めグループ同士で連絡を取りあった。

4 令和2年度の活動と令和3年度主な活動予定

- 10月: 集合会議、市民センター事業「動画撮影講座」補助
- 11月: 集合会議、スマホ講座補助(2回)、TRPG作成(毎月継続)
- 12月: 集合会議(勉強会)、スマホ講座補助(3回)
- 1月: Twitter作成、情報リテラシー勉強会
- 2月: 集合会議、PR動画撮影
- 3月: 実践交流会参加
- 4月: 桜の動画撮影(花見)、アーチェリー撮影(体験)
- 5月: 田植えの撮影(体験)
- 6月:
- 7月: 市民センターまつりでのTRPG発表

令和3年度目標

佐伯地域の魅力ある動画を1本作成する。

5 「さいき部」に対する津田市民センターとしての考え方や関わり方

- ・主体はあくまで高校生。市民センターと一緒に伴走できるように心がける。
- ・子ども達が安心して活動が出来るよう環境づくりに配慮する。
- ・楽しいのはもちろん！ただし、何事にも自分ごととして目的を持って行動が出来るように支援する。
- ・市民センターや参加者の自己満足で終わらないように、センタまつりなどに出店し、評価を受ける場を提供する。それを受け、次を考え改善できるように支援する。